

平成 2 1 年度

朝日町予算説明書



朝 日 町 総 務 課

目 次

平成 2 1 年度 一般会計予算の概要	1
町民生活と地域経済を守る 緊急対策	2
朝日町第 5 次総合発展計画基本構想と平成 2 1 年度の主要な施策	3
朝日町定住促進ビジョン	5
事業別予算説明	
1 . 信頼とつながりにより地域の力をつくる「地域力の向上」	
1 - 1 地域を支える人材の育成	7
1 - 2 郷土愛を育む活動の推進	7
1 - 3 未来を担う子ども達の教育環境づくり	9
2 . 安定した暮らしができる産業をつくる「産業力の向上」	
2 - 1 地域特性を活かした農業の産地力の強化	1 0
2 - 2 まちに活力を生み出す産業の創出	1 2
2 - 3 地域の宝物を活用した交流・観光の推進	1 4
3 . 安心と魅力のある定住環境をつくる「定住力の向上」	
3 - 1 みんなで支える子育て環境の整備	1 5
3 - 2 健康で、生きがいをもって活動できる環境の整備	1 9
3 - 3 安全安心で、快適な環境の整備	2 0
平成 2 1 年度 当初予算額（会計別総括表）	2 4
一般会計予算額（決算額）の推移	2 5

平成21年度 一般会計予算の概要

平成21年度町長方針（町政運営の基本方針）

～第5次朝日町総合発展計画の実施2年目として
町民が町の元気：活力を実感できる施策を展開する。～
人材育成、地域の力
暮らしを守る産業の力
基盤整備、定住の力
交流を促進し、町民との協働により、町の活力を高める。

「第5次朝日町総合発展計画」及び「平成21年度町長方針」に基づく施策に財源を重点配分。

あわせて、100年に一度と言われる世界的な経済金融危機にあたって、町民生活と地域経済を守る観点から、20年度補正予算、21年度予算と、切れ目なく連続的に施策を実行。

厳しい財政状況を踏まえ、行財政改革に引き続き取り組むことにより、人件費をはじめとする一般行政経費の削減を行い、政策的経費の財源を確保する。

（千円）

（1）第5次朝日町総合発展計画を実現するための3つの柱に行財政資源を集中

信頼とつながりにより地域の力を高める【地域力の向上】	108,727
安定した暮らしができる産業をつくる【産業力の向上】	172,615
安心と魅力のある定住環境をつくる【定住力の向上】	1,535,030

（2）町民生活と地域経済を守る、緊急対策の実施 【（1）の再掲】

普通建設事業の積極的な実施	1,008,399
緊急雇用対策	10,000
地域産業への緊急支援	8,100

（3）行財政改革による経費の削減

経常的経費充当一般財源の削減	105,682
うち 人件費（特別会計人件費分繰出金を含む）の削減（議員報酬・特別職給与・管理職手当削減の継続、職員数の削減）	4,533
うち 公債費の削減（繰上償還分を除く）	76,445

1. 予算規模 46億4,500万円

（平成20年度当初 40億6,500万円、 5億8,000万円（14.3%）の増）

2. 歳入について

一般財源

（単位：千円、％）

	21年度	20年度比較増減		
		額	率	
町税	600,345	35,634	5.6	固定資産税評価替えによる減
地方交付税	2,210,000	0	0.0	普通交付税：経済対策による増、公債費の減
臨時財政対策債	222,200	79,100	55.3	普通交付税からの振り替え分の増
財政調整基金繰入金	36,000	77,000	68.1	
減債基金繰入金	65,544	65,544	皆増	繰上償還財源
その他（譲与税、交付金他）	183,643	24,682	11.8	地方財政計画に基づく推計により減
一般財源総額	3,317,732	7,328	0.2	

3. 町民生活と地域経済を守る 緊急対策

平成21年度当初予算

普通建設事業の積極的な実施 計画の前倒し等により、事業費を大幅に増額し実施する 平成20年度当初予算との比較 476,104千円(89.4%)の増	1,008,399 千円
緊急雇用対策 町臨時職員を増員し雇用の場を確保する。事業所が行う失業者の雇用を支援する。	10,000
地域産業への緊急支援 ・ 木材利用住宅建築助成 4,500 限度額を15万円 30万円に増額。耐震補強改修を新たに対象に加える。 ・ 商工業融資制度保証料補給金 3,600 セーフティネット保証への対応	8,100

《参考》

平成20年度補正予算 対応分

	(千円)
地域活性化・安全対策臨時交付金事業 【国2次補正】	166,000
～平成21年度以降の実施を計画していた事業の前倒し実施、事業内容の拡充～	
子育て支援拠点施設整備事業(備品購入)	45,200
高齢者世帯火災警報器設置事業	1,500
高齢者センター改修事業	2,000
朝日町お買い物券発行事業	4,000
朝日自然観整備事業	5,200
町道維持補修事業	82,100
小・中学校改修事業	12,500
公共施設地上デジタル放送移行対策事業	10,000
町民体育館改修	3,500
定額給付金事業 【国2次補正】	134,000
町民1人あたり1万2千円を支給する。65歳以上、18歳以下は2万円を支給。	
子育て応援特別手当支給事業 【国2次補正】	3,060
幼児教育期の第2子以降の子ども1人あたり3万6千円を支給	
妊婦検診の無料化の拡大 【国2次補正】	300
平成21年2月1日以降から14回分無料化(以前は5回分無料化)	
商工業融資制度保証料補給金	400
セーフティネット保証への対応(融資総額3億円の増加分に対する保証料の補給)	

基本構想

空気澄み 人つながり 志高く

未来を拓く 朝日町

いつの時代も自信と誇りを持ち
住みたい、ずっと住み続けたい
魅力のあるまちをつくる

～ 自立した地域をつくる ～

地域力

定住力

産業力

ともに考え
ともに築く
まちをつくる

～ 人と人の
「つながり」が
あるまち ～

『交流』による
活力のある
まちをつくる

～ 交流による
新たな「価値」と
「にぎわい」の創造 ～

時代に適応した、信頼される行政の確立

- 新鮮な情報を受・発信し、町民とともに考え、ともに行動する行政の確立
- 町民に分かり易い経営を目指し、町民の視点に立った成果指向の行政システムの構築
- 自立を支える行財政基盤の確立

【 平成21年度の主要な施策 】

定住力の向上

安心と魅力のある定住環境をつくる 1,535,030

● みんなで支える子育て環境の整備

～働いている親も安心して子育てのできるまちづくりを進める～

- ・ 町民が安心して利用できる安全な子育て支援拠点施設の整備・活用 634,448
(子育て支援センターと統合保育園を併設した子育て支援拠点施設の整備等)
- ・ 子育てに係る経済的負担の軽減 102,800 (うち【再掲】675)
(第2子以降の保育料軽減、未就学児の医療費完全無料化等)
- ・ 健やか健診、育児健診等の実施 4,800 (妊婦健康診査無料化の拡充)
- ・ 地域で支える子育て環境の整備・充実 4,323 (放課後児童クラブ・放課後子ども教室の実施)

● 健康で、生きがいをもって活動できる環境の整備

～生涯現役で活躍できる健康な人を増やす～

- ・ 健康づくりと健康チェックの充実 22,807 (がん検診、特定健診の実施等)
- ・ 安心して暮らせる環境整備 161,895 (うち【再掲】2,550)
(在宅福祉の支援、障がい者福祉の支援、長寿クラブ等)
- ・ 地域医療の充実 175,009 (朝日町立病院運営補助)
- ・ 介護支援の充実 110,116 (介護保険特別会計への繰出)
- ・ 地域における支え合い：高齢者自立生活支援システムの整備 21,482
(社会福祉協議会・シルバー人材センター運営補助、元気クラブへの支援等)

● 安全安心で、快適な環境の整備

～地域ぐるみの支え合いと、生活を支える基盤をつくる～

- ・ 災害に備える基盤整備や地域防災体制の確立 47,391
(耐震性貯水槽の整備、木造住宅簡易耐震診断助成等)
- ・ 地域ぐるみで支える雪対策事業の推進 13,132 (うち【再掲】1,700)
(除雪用ドーザの購入、【再掲】地域提案型交付金)
- ・ 快適で多様な住宅環境の整備 61,952 (木材製品利用住宅建築助成、合併処理浄化槽の設置補助等)
- ・ 安全で便利な交通環境の整備 97,500 (町道等の整備、山形直行バスの運行)
- ・ 情報通信環境の整備 13,522 (地域情報化推進懇話会・インターネット講習会の開催等)
- ・ 循環型地域社会の構築 1,038 (澄んだ空気を守る町民運動の展開、菜の花プロジェクトの推進)
- ・ 詩情溢れるふるさと景観の構築 67,740 (まちづくり交付金による広場・蔵等の整備等)

地域力の向上

信頼とつながりにより地域の力をつくる 108,727

● 地域を支える人材の育成

～地域課題を自ら捉え、やる気と挑戦する人をつくる～

- ・ 地域を支えるリーダー、NPO等の団体育成 2,000
(協働のまちづくり推進プロジェクト(「あさひ未来塾」))

● 郷土愛を育む活動の推進

～地域に自信と誇りを持つ人を育てる～

- ・ 一人一人が町を好きになる取組み 13,423
(「朝日町検定」の検討、各町立公民館での各種講座や教室等)
- ・ 集い学び合う交流環境づくり 交流による地域の元気づくり 【再掲】69,300
(【再掲】まちづくり交付金による広場・蔵等の整備等)
- ・ みんなで考え支え築くコミュニティづくり 24,871
(町職員地域支援担当事業、地域提案型交付金、集落対策支援事業、学校跡地利活用等)

● 未来を担う子ども達のエducation環境づくり

～心身のたくましい健やかな子どもをみんなで育てる～

- ・ 子どもに合った教育の場の確保・応用力ある確かな学力を育てる 25,196
(各学校における学力向上への支援、特別支援学校就学助成事業等)
- ・ 豊かな体験を通して自主・自立の心とたくましさの育成 【再掲】5,929
(【再掲】各町立公民館での各種講座や教室等)
- ・ 地域、家庭の教育力向上への支援 3,501 (うち【再掲】2,811)
(トライアングルパートナーシップの推進等)
- ・ 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備 47,247 (うち【再掲】4,700)
(各学校の施設修繕、【再掲】山形直行バスの運行等)

産業力の向上

安定した暮らしができる産業をつくる 172,615

● 地域特性を活かした農業の産地力の強化

～朝日町ブランドづくりを進める～

- ・ 安全安心・美味しい日本一の「りんご」づくり 71,754
(優良品種の導入促進、選果機設備機能強化等)
- ・ 園芸作物や米などのブランド品づくり 1,200
(ブランド米確立への支援)
- ・ 農業の担い手の育成 3,660
(新規就農者への初期投資に係る支援、農業新分野等支援事業「農家提案型補助事業」)

● まちに活力を生み出す産業の創出

～多様な連携による産業集積と創造的[ものづくり]の推進～

- ・ 既存企業の振興 9,305
(商業活性化対策事業補助、商工会指導事業補助等)
- ・ 新たな事業創出への支援・育成：「場」のブランドづくり 16,433
(産業立地推進員情報交換会、朝日町産業創造推進機構への支援等)

● 地域の宝物を活用した交流・観光の推進

～地域資源や「食」の活用と、情報発信力を強化する～

- ・ 交流・観光資源の整備 49,238
(子ども農山漁村交流プロジェクト等での教育旅行の受入体制の整備・朝日自然観の維持修繕等)
- ・ 観光振興体制の充実 13,429
(観光振興推進員の配置、観光協会の体制強化等)
- ・ 観光交流情報の収集・発信体制の充実 7,596
(観光協会ホームページの作成、朝日川溪谷案内板の整備等)

結婚に向け 頑張る人を応援します

H21予算 833千円

結婚へのステップを後押しします

- ハッピープランサポートの実施【461】
- 近隣市町との広域的な連携による
出会いの場の創出【19～】【260】
- セミナーの開催【19～】【112】



住

若者が住みやすい 住環境をつくりま

H21予算 9,409千円

子育て世代・若者に魅力ある
住まいを提供します

- 町営アパートの整備促進
 - ・町営アパート「みなみハイツ」の整備10世帯【19完成】
 - ・雇用促進アパートの取得「中郷ハイツ」【19完了】
 - ・地優賃住宅「蔵ハイツ大町」の整備10世帯【20完成】
- 若者が住宅を建てやすい仕組みづくり
 - ・木材利用住宅建築助成の拡充【4,500】
 - ・借地権設定が可能なシステム構築
- 住宅団地の造成

今度申し込んで
みましょうか

環境を考えた住まいづくり
を進めます

- 雪などに適応した住みやすい住まいづくりの推進
 - ・地域で支える雪対策・雪害対策事業の実施【19～】【3,500】
- 自然環境に配慮した住宅への改善推進
 - ・合併処理浄化槽設置若者定住促進補助の継続【1,000】

転入を促進できる環境
づくりを進めます

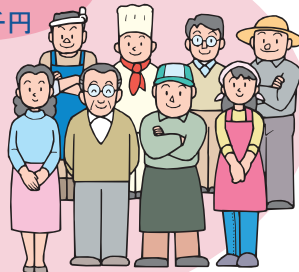
- 情報発信によるきっかけづくり
 - ・ホームページ等による情報発信
- 空き家情報提供体制の整備【21新】【409】
- 転入に当たっての支援の充実
 - ・定住相談窓口の開設
- 転入後のアフターフォローの充実
 - ・転入者ネットワークの創設・支援★

地域のガンバリ を応援します

H21予算 18,014千円

地域の自発的
取り組みを支援します

- ・地域提案型交付金制度の実施【19～】★【10,000】
- ・あさひ未来塾の実施【19～】★【2,000】
- ・志藤六郎村おこし基金補助事業★【3,000】
- ・朝日町職員地域支援担当事業【20～】★【3,014】



【朝日町定住促進ビジョン】 ずっと住み続けたい、ここに住んでみたい そんな朝日町にします

『子育て世代』20才代～40才代が住みやすいまちづくり
施策の視点「育」「職」「住」「アクセス」

平成19年度～21年度 3カ年計画
平成21年度 予算総額 741,540千円



育

子育てしやすい 環境をつくりま

H21予算 667,952千円

子育て支援を充実します

- 子育てに係る経済的負担の軽減
 - ・第2子以降(3才以上)の保育料
5,000円定額化【19～】【16,182】
 - ・未就学児の医療費完全無料化の継続【2,000】
 - ・フッ素塗布の自己負担分無料化【19～】【274】
 - ・18才未満のインフルエンザ予防接種補助【675】

- 多様な保育ニーズへの対応
 - ・乳児保育の充実
 - ・短期保育の実施
 - ・早朝、延長保育の実施
- ・子育てセンター「あさひ」の整備【20～】【628,555】

【8,268】

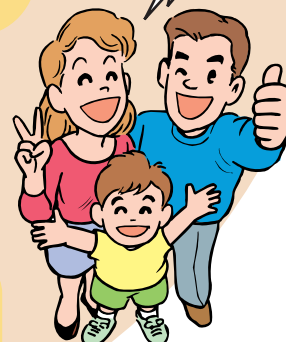
- 子育てを支える多様な仕組みづくり
 - ・子育て図書コーナーの開設【19～】
 - ・ブックスタート(読み聞かせによる親子ふれあい事業)の実施【19～】【75】
 - ・放課後子ども教室の実施【19～】【1,623】
 - ・ファミリーサポート事業の実施★
 - ・子育て支援センターの充実★【2,600】
 - ・子ども見守り隊の実施★
 - ・学童保育の実施★【2,700】

水準の高い教育を進めます

- 適切な学力が確保できる学習
 - ・学力向上推進事業の実施【1,800】
 - ・学習生活指導補助員の配置【3,200】
 - ・小学校英語活動の充実

- 特色ある教育の実施
 - ・朝日町版職場体験学習の実施【19～】
 - ・部活レベルアップのための講師招聘の実施

子育て支援や、教育
が充実されて、これ
なら安心して子育て
できるわ!



アクセス

高校通学を 便利にします

H21予算 7,700千円

通学に困らない交通手段を確保します

- バス定期券に対する補助【19～】【3,000】
- 山形直行バスと山交乗合バスとの
共通利用サービスの実施【21新】【山交と連携】
- バスダイヤの改善

県都への交通網を改善します

- 山形への直行バスの運行【19～】【4,700】
- 【21年度より往復運行開始】

通学はグッと便利に
なるし、送迎や定期代
など、親の負担が
かなり軽くなるね



職

しごと環境を 充実します

H21予算 37,632千円

農業経営の安定を図ります

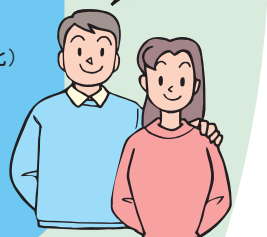
- 農業担い手への支援の集中
 - ・農家提案型補助事業の実施【19～】【2,000】
 - ・新規就農者育成事業の実施【20～】【1,260】

- りんご農家の所得の向上
 - ・りんご銘柄産地確立対策の実施【700】
 - ・りんごの輸出拡大【1,300】
 - ・高品質りんご生産緊急対策事業【20～】【5,579】

みんながチャレンジできる
環境整備を図ります

- 創業の支援や新事業創出推進
 - ・新事業経営安定対策事業の実施【1,000】
 - ・RINGOプロジェクトの実施★【11,000】
(朝日町ブランド形成事業・仙台とのパートナーシップ強化)
 - ・産業立地促進奨励制度の実施
 - ・産業立地推進員制度の創設【19～】【650】
 - ・商工業開業(新事業・産業活性化)支援資金
利子補給制度【73】
 - ・商工業振興資金保証料補給制度【3,600】

頑張る人への支援
策がいろいろ充実
してきたね。



- 安心して生活できる雇用の確保
 - ・ふるさと雇用再生事業の実施【21新】【4,000】
 - ・新規卒者奨励の実施
 - ・勤労者生活安定資金融資制度の実施【270】

交流促進による活力アップを図ります

- 観光交流、体験交流の促進
 - ・商店街活性化事業の実施【1,200】
 - ・交流体験モデル事業の実施【19～】
 - ・高速通信網を活用した積極的情報発信
 - ・観光振興推進員の設置【21新】【5,000】

〔 〕内の数値は21年度当初予算額、単位千円

※【21新】は、平成21年度からの新規事業です。

※朝日町では協働のまちづくりを進めていきます。★印は、町民の皆さんと協働で進めていく事業です。

定住促進ビジョン
平成20年度の主な取り組み

(特に記載のないものは平成21年3月現在)

子育てしやすい環境づくり

育

- 第2子以降（3才以上）の保育料5,000円定額化を開始
5,000円定額化該当者数 88名
- 未就学児の医療費完全無料化の継続実施
該当件数 1,458件（平成21年1月現在）
- 町立図書館に「子育て図書コーナー」を開設
- ブックスタート事業（読み聞かせによる親子のふれあい事業）の実施
- 朝日町版の職場体験学習を、朝日中2年生が町内26事業所で体験
- 放課後子ども教室「きらきらスクール」の実施
20名の「きらきら見守り員」を委嘱 子ども達の放課後等の活動をサポート

しごとと環境の充実

職

- 農業新分野等支援事業の実施 1件（ぶどう短梢栽培）
- ORINGOプロジェクト
提携のための交流事業の実施 8団体
- 新規事業化した団体等への経営指導 5団体
- 起業を目指す団体等への助言・指導 3団体
- 産業立地推進員 7名を委嘱し情報収集などの活動を推進

若者が住みやすい住環境づくり

住

- 町営アパート（地優賃住宅）「蔵ハイツ大町」 10世帯分を建設
3月完成

高校通学を便利に

アクセス

- 高校生のバス通学に対する定期券助成を開始
平成21年1月までで91件の利用
- 山形市への直行バスの運行
平成21年2月までで延べ3,682名が利用

地域の頑張りを応援

- 朝日町職員地域支援担当事業をスタート
地域と役場職員が直接つながる新しい仕組み、町内全地区に担当職員を配置
- 地域提案型交付金制度の実施
各地の独自の取り組みが活発に マスタープランづくり8地区(累計:28地区)
区内の環境美化24地区、地域提案事業12地区 他
- あさひ未来塾が開塾 3年間のプログラムがスタート
「助け合いのまちづくり」「もてなしの心をつなぐ産業・交流」
「まちづくりコーディネーターリーダー育成」「田舎暮らし」
の4つのコースに52名が参加

1. 信頼とつながりにより地域の力をつくる

「地域力 の向上」

基本方針 1-1：地域を支える人材の育成

～地域課題を自ら捉え、やる気と挑戦する人をつくる～

地域を支えるリーダー、NPO等の団体育成

「協働のまちづくり推進プロジェクト（あさひ未来塾）」

（担当：教育文化課）

町では、「協働のまちづくり指針」を策定し、町民が自主的に町づくりに参加し、町民と行政との協働によるまちづくりを本格的に進めます。

そのためには、地域を支え、町を支える人材が必要不可欠ですので、平成 19、20 年度に引き続き人材育成事業「あさひ未来塾」を開設します。（最終年度になります。）



主な経費

・プロジェクト運営委託料

200 万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源）

200 万円

基本方針 1-2：郷土愛を育む活動の推進

～地域に自信と誇りを持つ人を育てる～

みんなで考え支え築くコミュニティづくり

「地域提案型交付金事業」

（担当：政策推進課）

地域の創意と工夫を活かした「元気な地域づくり」をめざす住民自治活動を支援するため、各地区に対して「地域提案型交付金」を交付します。

主な経費

・地域提案型交付金、雪害対策事業

1,350 万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（志藤六郎村おこし基金からの繰入れ）

400 万円

・町の負担（一般財源）

950 万円

みんなで考え支え築くコミュニティづくり

「町職員地域支援担当事業」

（担当：政策推進課）

平成 20 年度に引き続き、地域づくりを推進するため、町職員を「地域支援担当職員」として各区に配置し、各区の計画実現や課題解決に向けた取り組みを行い、協働のまちづくりを進めます。

主な経費

・協働のまちづくり、地域支援担当事業 他	132 万円
・美しい農村づくりの継続、地域づくり対策 他	139 万円
・旧小学校校舎等利活用推進	30 万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源）	301 万円
-------------	--------

「集落対策支援事業」

（担当：政策推進課）

高齢化率が高い地区等を対象に、集落調査員と職員の協働による集落の状況把握や集落点検を実施し、その結果を活用し、集落の問題解決に向け取り組みます。

主な経費

・集落基礎調査の実施、地域計画づくりの支援【新規】	401 万円
---------------------------	--------

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源）	401 万円
-------------	--------

一人一人が町を好きになる取組み

「朝日町の魅力発見事業」

（担当：政策推進課）

町の魅力を分かりやすく、おもしろく知ってもらい、これまで以上に町を好きになり、誇りにつなげてもらうため、これまでのエコミュージアム活動の成果や、町史編さんを活用し、町民や町外からの交流者に対し、町の魅力を発信していきます。

主な経費

・「朝日町検定」の検討【新規】、「朝日町読本」の作成	200 万円
----------------------------	--------

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源）	200 万円
-------------	--------

基本方針 1-3：未来を担う子ども達の教育環境づくり

～心身のたくましい健やかな子どもをみんなで育てる～

子どもに合った教育の場の確保・応用力ある確かな学力を育てる

「学力向上支援事業」

(担当：教育文化課)

一人ひとりの児童・生徒に対するきめ細やかな教育を具体的な事業により支援し、知識や技能、思考力等の総合的な学力の向上を図ります。



平成 21 年度学級編成一覧表(予定)

学校名	児童・生徒数							学級数
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
西五百川小学校	12	13	12	11	17	15	80	7
宮宿小学校	30	39	29	30	42	28	198	9
大谷小学校	22	13	12	14	17	11	89	7
朝日中学校	75	65	82				222	9

主な経費

- ・学力向上推進事業【拡充】 1 8 0 万円
- ・学習生活指導補助員等の配置 4 1 6 万円
- ・英語指導助手（ALT）招致事業 4 6 2 万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・町の負担（一般財源） 1, 0 5 8 万円

「特別支援学校就学助成事業」

(担当：教育文化課)

特別支援学校（幼稚部～高等部）に就学する生徒の保護者に対して、就学に伴う経済的負担を支援し、適切な就学を支援します。

主な経費

- ・特別支援学校就学補助【新規】 9 0 万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・町の負担（一般財源） 9 0 万円

2 . 安定した暮らしができる産業をつくる

「産業力 の向上」

基本方針 2-1：地域特性を活かした農業の産地力の強化

～朝日町ブランドづくりを進める～

安全安心・美味しい日本一の「りんご」づくり

「高品質りんご生産緊急対策事業」

(担当：産業振興課)

樹木の高齢化と品種構成の偏りによる品質低下を抑え、「朝日町りんご」の更なるブランドづくりを行うため、高接ぎ・ワイ化改植及び苗木購入による優良品種への更新について支援します。

主な経費

・高品質りんご生産緊急対策事業 5 5 8 万円

財 源 内 訳

・町の負担（一般財源） 5 5 8 万円

補助対象品種

シナノスイート、秋陽、ファーストレディ

その他

詳細については、担当までお問合せ下さい。



「りんご選果機機能強化事業」

(担当：産業振興課)

近年の新品種の導入や輸出対策に対応し、更なる「朝日町りんご」のブランドの確立を目指し、ＪＡが実施する選果機のカメラ・光センサー等の機能強化事業に対し支援します。

主な経費

・りんご選果機機能強化事業【新規】 9, 6 6 0 万円

財 源 内 訳

・国の補助 4, 8 3 0 万円

・ＪＡの負担 3, 8 6 4 万円

・町の負担（一般財源） 9 6 6 万円

農業の担い手の育成

「後継者・新規就農者支援対策事業」

（担当：産業振興課）

弟子入り制度や住居対策など、新規就農者等が安心して就農できる総合的な支援体制づくりを図ります。

主な経費

・受入れ農家への研修受入助成【新規】	7 2 万円
・研修期間中の家賃補助【新規】	1 2 万円
・研修受入体制整備【拡充】	1 2 万円
・農業型奨励金【新規】	3 0 万円

財 源 内 訳

・町の負担（一般財源）	1 2 6 万円
-------------	----------

「農業新分野等支援事業（農家提案型補助事業）」（担当：産業振興課）

農業団体や認定農業者・新規就農者等が行う、農業分野での先進的な取り組みとなる事業や新技術導入事業など、町農業振興のモデルとなる事業について支援します。

主な経費

・農業新分野等支援事業	2 0 0 万円
-------------	----------

財 源 内 訳

・町の負担（一般財源）	2 0 0 万円
-------------	----------

《支援例》

花木通年栽培普及支援
施設園芸新規作物導入支援
果樹栽培新技術導入支援



基本方針 2-2：まちに活力を生み出す産業の創出

～多様な連携による産業集積と創造的 [ものづくり] を進める～

既存企業の振興

「商工業活性化対策事業」

(担当：産業振興課)

商工業者の経営力の向上と商店街の活性化を図るため、商工会や事業振興協議会が主体となり取り組む事業に対し補助金を交付します。

主な経費

・町商工会指導事業	350万円
・産業まつり	50万円
・商業活性化対策事業	120万円
・事業振興協議会補助	17万円

----- 財 源 内 訳 -----	
・町の負担（一般財源）	537万円

新たな事業創出への支援・育成：「場」のブランドづくり

「新事業経営安定対策事業」

(担当：産業振興課)

朝日町の地域資源を活用した付加価値の高い特産品開発と事業経営の規模拡大に対し、平成 20 年度に引き続き奨励金を貸与します。

主な経費

・新事業経営安定対策事業	100万円
--------------	-------

----- 財 源 内 訳 -----	
・町の負担（一般財源）	100万円

《奨励金の貸与と返還》

経費総額の 50% 以内で 100 万円以内を奨励金として貸与します。

貸与期間が終了した時点でその事業を継続している場合は、奨励金の返還が免除されます。



新たな事業創出への支援・育成：「場」のブランドづくり

「産業立地促進事業」

（担当：産業振興課）

若者の地元就職による安定的な所得確保を進めるため、平成 20 年度に引き続き、産業立地推進員の方から、対外的な町の P R 活動や企業誘致のための情報収集等に努めていただきます。

また、西原工業団地の情報も開示できるような条件整備を整えます。

主な経費

・産業立地推進員	26 万円
・西原工業団地概略設計測量委託【新規】	200 万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源）	226 万円
-------------	--------

「朝日町産業創造推進機構支援事業」

（担当：産業振興課）

昨年度創設された「朝日町産業創造推進機構」へ運営のための補助金を交付し、機構を通して、起業された方の支援や、都市との交流観光事業による商品の販路開拓等を行います。



主な経費

・朝日町産業創造推進機構運営補助【拡充】	1,100 万円
----------------------	----------

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源）	1,100 万円
-------------	----------



基本方針 2-3：地域の宝物を活用した交流・観光の推進

～地域資源や「食」の活用と、情報発信力を強化する～

観光振興体制の充実

「観光振興推進員設置事業」

(担当：産業振興課)

交流人口の拡大を目指し、町の観光情報の収集や発信、また観光資源の調査や観光ソフトの開発など更に充実させるため、観光協会に「観光振興推進員設置補助」を交付し、観光振興体制の充実を図ります。

主な経費

・観光振興推進員設置補助【新規】	500万円
----- 財 源 内 訳 -----	
・町の負担（一般財源）	500万円

観光交流情報の収集・発信体制の充実

「交流・観光推進事業」

(担当：産業振興課)

町のイメージアップを図り、交流人口の拡大を目指すため、民間の活力やノウハウを導入し、観光マップやモデルコースの整備、ホームページ作成による多方面への情報発信など、更なる観光交流情報の収集・発信体制の充実を図ります。

主な経費

・交流観光促進業務委託【新規】	500万円
・観光協会補助（ホームページ作成等）	285万円
----- 財 源 内 訳 -----	
・町の負担（一般財源）	785万円



3 . 安心と魅力のある定住環境をつくる

「 定住力 の向上 」

基本方針 3-1：みんなで支える子育て環境の整備

～働いている親も安心して子育てのできるまちづくりを進める～

町民が安心して利用できる安全な子育て支援拠点施設の整備・活用

「子育て支援拠点施設整備事業」

(担当：健康福祉課)

平成 22 年 4 月の開園に向け、現在 3 ヲ所ある保育園を統合し、子育て支援センターを併設した「子育て支援拠点施設」を整備し、総合的に子育てをサポートします。

主な経費

・ 建築工事、外構工事、設計監理等 6 億 2,856 万円

----- 財 源 内 訳 -----

・ 町の負担（借金・過疎債等） 6 億 2,610 万円

・ 町の負担（一般財源） 246 万円



子育て支援拠点施設 完成イメージ図

**町民が安心して利用できる安全な子育て支援拠点施設の整備・活用
「子育て支援センターの開設」**
(担当：健康福祉課)

子育てに困った時や、子育てに関する情報を知りたい時など、乳幼児を持つお母さん達が、少しでも安心して子育てができるように支援します。

現在は、ふたば保育園内にありますが、今後「子育て支援拠点施設」に設置予定ですので、開園にむけ運営や利用内容についても検討していきます。

主な経費

・子育て支援センター運営費等 260万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源） 260万円



**多様な保育ニーズへの対応
「早朝・延長・3歳未満児保育等の実施」**
(担当：健康福祉課)

働きながら子育てしている保護者が、困らずに子育てできるように、通常保育のほか多様な保育サービスを提供します。

平成 21 年度入所児童数（予定）

施設名	3歳児未満	3歳児	4歳児	5歳児	計
さゆり保育園	16	21	27	29	93
ふたば保育園		8	16	8	32
わかば保育園		10	10	13	33

主な経費

・早朝保育、延長保育、未満児保育費 853万円

----- 財 源 内 訳 -----

・県の交付金 520万円

・町の負担（一般財源） 333万円

子育てに係る経済的負担の軽減 「未就学児医療費完全無料化事業」

（担当：健康福祉課）

子育て支援策のひとつとして、平成 17 年 7 月から「朝日町乳幼児医療費完全無料化事業」を実施しています。これは、県の乳幼児医療制度の非該当者及び、県の乳幼児医療制度において発生する自己負担分に対し町がさらに助成するものです。

ただし、入院時の食事代や差額室料など自費負担のものは該当しませんのでご注意ください。

主な経費

・乳幼児医療給付費、乳幼児医療審査支払等 1,513 万円

----- 財 源 内 訳 -----

・県の負担 652 万円

・町の負担（一般財源） 861 万円

手続きの流れ



「第 2 子以降（3 歳以上）の保育料の軽減」

（担当：健康福祉課）

子育て支援策のひとつとして、平成 19 年度から第 2 子以降（3 歳以上）の保育料を 5,000 円の定額化にしています。（3 歳未満児保育料は対象外です。）

平成 21 年度も引き続き実施します。



影響額

・5,000 円定額化による保育料の軽減総額 1,618 万円

子育てに係る経済的負担の軽減**「18歳未満インフルエンザ予防接種助成事業」**

(担当：健康福祉課)

18歳以下の子ども等が受けたインフルエンザ予防接種費用に対し、20年度に引き続き、1,500円を限度に町が助成します。

主な経費

・18歳未満インフルエンザ予防接種助成	68万円
---------------------	------

-----	財 源 内 訳	-----
-------	---------	-------

・町の負担（一般財源）	68万円
-------------	------

健やか健診、育児健診等の実施**「妊婦健康診査助成事業」**

(担当：健康福祉課)

子育て支援策のひとつとして、妊婦健診の無料化を5回分から14回分に増やし、経済的負担を軽減し妊婦健康診査の受診を推進し、母体や胎児の健康確保を図ります。

主な経費

・無料妊婦健診受診券交付（14回分）【拡充】	450万円
------------------------	-------

・妊婦健診償還払補助（H21年2～3月遡及分）【新規】	30万円
-----------------------------	------

-----	財 源 内 訳	-----
-------	---------	-------

・町の負担（一般財源）	480万円
-------------	-------

地域で支える子育て環境の整備・充実**「放課後子ども教室、放課後児童クラブの開設」**

(担当：教育文化課)

放課後の子ども達が安全安心で健やかな居場所を確保するため、「放課後子ども教室」を行います。

また、仕事などで保護者や家族の方が、昼間家庭に不在となる児童等に対しては、「りんごっこクラブ」を開設し「放課後児童クラブ」を実施します。

主な経費

・放課後子ども教室	162万円
-----------	-------

・放課後児童クラブ	270万円
-----------	-------

-----	財 源 内 訳	-----
-------	---------	-------

・県の負担	215万円
-------	-------

・町の負担（一般財源）	217万円
-------------	-------

基本方針 3-2：健康で、生きがいをもって活動できる環境の整備

～生涯現役で活躍できる健康な人を増やす～

地域医療の充実

「朝日町立病院運営費」

(担当：町立病院)

町民の皆様に、質の高い思いやりのある医療・保健・福祉を提供いたします。

主な経費

・町立病院収益的収支	7億6,660万円
・町立病院資本的支出	8,285万円

----- 財 源 内 訳 -----

・病院会計	6億5,211万円
・病院会計の負担（借金・病院債）	1,430万円
・国の補助（国保調整交付金）	803万円
・国の補助（交付税）	1億3,141万円
・町の負担（一般財源）	2,930万円
・町の負担（借金・過疎債）	1,430万円

地域における支え合い：高齢者自立生活支援システムの整備

「高齢者生きがい活動支援」

(担当：健康福祉課)

社会福祉協議会、シルバー人材センター、民生委員など各推進機関の連携を図り、各種教室や元気クラブなど楽しみながら高齢者の生活を支援する活動を進めます。



主な経費

・社会福祉協議会、シルバー人材センター運営補助	885万円
・民生児童委員活動費等	400万円
・各種生きがいづくり大会	28万円
・長寿クラブ助成	144万円

----- 財 源 内 訳 -----

・県の負担	273万円
・町の負担（一般財源）	1,184万円

介護保険特別会計で行っている主な事業

介護予防事業	809万円（ぴんしゃん教室、介護予防教室、元気クラブ等）
包括的支援事業	22万円（ケアマネージャー支援、ケアプラン作成等）
任意事業	506万円（紙おむつ支給事業、認知症高齢者見守り事業等）

基本方針 3-3：安全安心で、快適な環境の整備

～地域ぐるみの支え合いと、生活を支える基盤をつくる～

災害に備える基盤整備や地域防災体制の確立

「木造住宅簡易耐震診断助成事業」

(担当：建設水道課)

大規模地震に備え、木造住宅の耐震診断を希望する住宅の所有者に対し、町で耐震診断士を派遣し、その費用の一部を負担します。

診断士派遣費用 6万円(1棟当たり)

【負担割合】

- ・町の負担(9割) 54,000円
- ・所有者負担(1割) 6,000円

主な経費

- ・木造住宅簡易耐震診断委託(20戸分)【新規】 108万円

財 源 内 訳

- ・国の負担 60万円
- ・町の負担(一般財源) 48万円

快適で多様な住宅環境の整備

「木材製品利用住宅建築助成事業」

(担当：建設水道課)

町内に建築された木造住宅(新築及び増改築)に対し、助成金を交付します。(国内産木材製品額の40%以内とし、30万円を限度)

ただし、30万円以上の国内産木材製品を、町内製材業者から納入し使用するか、または町内建築業者施行のものに限ります。

また21年度からは、木造住宅耐震化改修工事についても助成対象とし、助成金を交付します。

主な経費

- ・木材製品利用住宅建築奨励補助【拡充】 450万円

財 源 内 訳

- ・町の負担(一般財源) 450万円



快適で多様な住宅環境の整備 「合併処理浄化槽の設置補助」

(担当：建設水道課)

町では、大谷地区を除く町内全域において、合併処理浄化槽の設置について、多様な助成制度等を設け普及促進に努めています。

主な経費

・合併処理浄化槽設置補助 2,850万円

財 源 内 訳

・国の負担 529万円

・町の負担（一般財源） 2,321万円

各種助成制度の一例

若者定住奨励金（5万円）

合併処理浄化槽を設置した年度において、夫婦の一方が40歳未満、または18歳以下の扶養者が1名以上の世帯

転入者奨励金（20万円）

合併処理浄化槽を設置した年度において転入した世帯

安全で便利な交通環境の整備

「町道整備事業・町道維持補修事業」

(担当：建設水道課)

町が管理する町道において、維持補修や整備を計画的に進めます。

主な経費

・町道維持補修 990万円

・交通安全対策施設（カーブミラー等） 200万円

・町道整備（県道整備町負担金1,200万円含む） 6,500万円

財 源 内 訳

・県の交付金 600万円

・町の負担（借金・過疎債） 5,280万円

・町の負担（借金・臨道債） 630万円

・町の負担（一般財源） 744万円

・地区受益者分担金 436万円

予定箇所 ・浦小路線（大谷4）
・三中2号線（高田）
・西町草林線（西町）
・大谷真中宮ノ下線（大谷6）



安全で便利な交通環境の整備

「山形直行バス実証運行事業」【拡充】

(担当：政策推進課)

山形市内への通学、通院、通勤の利便性向上を図るため、平成 20 年度に引き続き、「山形直行バス」を運行します。

21 年度は、山形市内の高校に通学する生徒の方だけでなく、通勤の方にも安心して利用いただけるよう、往復運行及び通年運行を行います。

主な経費

・朝日町地域公共交通活性化協議会補助 470 万円

財 源 内 訳

・町の負担（一般財源） 470 万円

【利用料金】

	中学生以上	小学生	小学生未満
乗車1回当り	500円	250円	無料

定期券の種類		1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
片道定期	通学	6,000円	17,000円	31,000円	60,000円
	通勤	8,000円	22,500円	41,000円	80,000円
往復定期	通学	12,000円	34,000円	62,000円	120,000円
	通勤	16,000円	45,000円	82,000円	160,000円

往復定期券に限り、左沢駅前発から宮宿行きの山交バスも平日利用ができます。

【時 刻】

往路（朝日町 山形市）

4月～11月及び3月

西五百川郵便局前	役場前	山形駅西口	山形市役所	北駅西
6:35	6:42	7:35	7:48	8:00

12月～2月

西五百川郵便局前	役場前	山形駅西口	山形市役所	北駅西
6:20	6:27	7:32	7:48	8:00

復路（山形市 朝日町）

4月～3月

山交バス本社前	山形駅西口	山形市役所	北駅西	役場前	西五百川郵便局前
19:15	19:20	19:25	19:32	20:25	20:32

注：土曜日、日曜日及び祝日の運行はありません。

ぜひ、ご利用ください。



循環型地域社会の構築

「菜の花活用循環型推進事業（菜の花プロジェクト）」

（担当：税務町民課・産業振興課）

環境意識が高まる中、耕作放棄地を利用して育てた菜の花から、菜種油を採取し学校給食等に利用し、使用済みの廃油から再びバイオディーゼル燃料にリサイクルする取り組みを通じ、循環型環境意識の醸成を図ります。

主な経費

・学校への回収ボックスの設置、環境学習の実施等 55万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源） 55万円

詩情溢れるふるさと景観の構築

「まちづくり交付金による蔵・広場の整備」

（担当：建設水道課）

既存の蔵を活用し、まちおこしに向けた集いの場や、地域資源を案内する施設として整備し、利活用を機に賑わいの創出や交流促進につなげます。

蔵・広場整備事業（平成19年度～平成21年度）

主な経費

・大町広場整備 410万円

・蔵改修【（仮称）中央通りもてなしセンター整備】 } 4,060万円

・蔵改修【（仮称）暮らしの語らい館整備】

----- 財 源 内 訳 -----

・国の負担 140万円

・町の負担（借金・過疎債） 4,330万円

【整備予定地】



まちづくり交付金事業（21年度）

・全体予算額 1億1,161万円

----- 財 源 内 訳 -----

・国の負担 3,940万円

・町の負担（借金・過疎債） 5,910万円

・町の負担（一般財源） 1,311万円

平成21年度 当初予算額（会計別総括表）

（単位：円、％）

区分 会計の別			当初予算額		比較増減	
			平成21年度	平成20年度	予算額	率
一 般 会 計			46億4,500万	40億6,500万	5億8,000万	14.3
	うち特別会計からの繰入		0万	0万	0万	0.0
	うち特別会計への繰出		4億7,601万	4億7,204万	397万	0.8
特別会計	集落排水事業特別会計		2,190万	2,080万	110万	5.3
	うち一般会計からの繰入		201万	201万	0万	0.0
	国民健康保険特別会計		10億1,400万	10億254万	1,146万	1.1
	うち一般会計からの繰入		9,641万	8,987万	654万	7.3
	老人保健特別会計		180万	1億5,879万	1億5,699万	98.9
	うち一般会計からの繰入		19万	1,709万	1,690万	98.9
	うち一般会計への繰出		0万	0万	0万	0.0
	介護保険特別会計		8億8,770万	8億8,460万	310万	0.4
	うち一般会計からの繰入		1億5,977万	1億5,315万	662万	4.3
	うち一般会計への繰出		0万	0万	0万	0.0
	後期高齢者医療特別会計		8,668万	9,779万	1,111万	11.4
	うち一般会計からの繰入		3,799万	3,277万	522万	15.9
企業会計	病院事業会計	収益的収支	7億6,660万	7億9,700万	3,040万	3.8
		資本的支出	8,285万	1億620万	2,335万	22.0
		うち一般会計からの繰入	1億7,501万	1億6,404万	1,097万	6.7
	水道事業会計	収益的収支	1億6,400万	1億6,200万	200万	1.2
		資本的支出	1億3,290万	1億3,470万	180万	1.3
		うち一般会計からの繰入	462万	1,312万	850万	64.8
総 額			78億343万	74億2,941万	3億7,402万	5.0
会計間のお金の出し入れを除いた正味の総額			73億2,742万	69億5,737万	3億7,005万	5.3

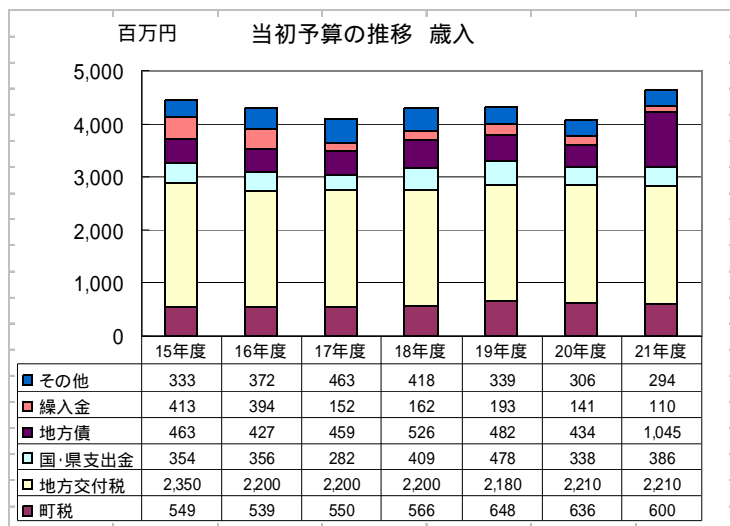
一般会計予算額（決算額）の推移

1．一般会計当初予算の推移・概要

46億4,500万円の予算総額（前年度比較5億8,000万円、14.3%の増）

（1）歳入の特徴

- ・町税：固定資産税評価替えによる減
- ・地方交付税：経済対策関係経費による増、公債費算入分の減
- ・繰入金：財政調整基金繰入の減、減債基金繰入の増
- ・町債：過疎債（子育て支援拠点施設整備他）の増、臨時財政対策債の増

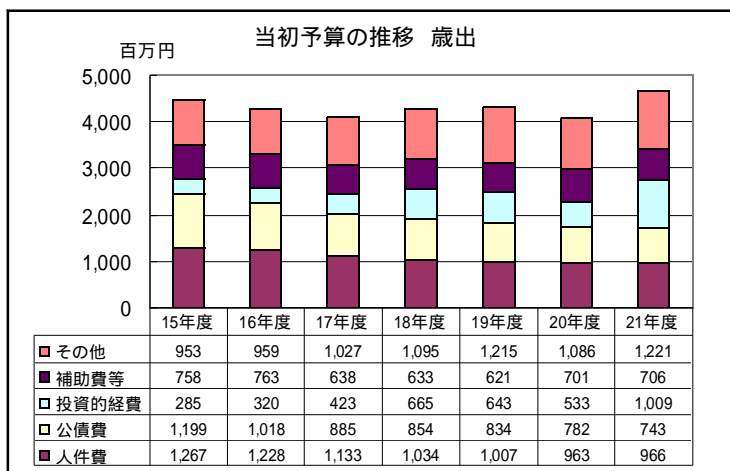


（2）歳出の特徴

- ・投資的経費：子育て支援拠点施設整備事業の増、町道整備の増
- ・消防施設整備の増

その他

物件費：総合行政システム導入経費の増



2．人件費の状況

- （1）人件費は平成11年度の13億6,900万円がピーク。平成12年度以降10年連続で減少

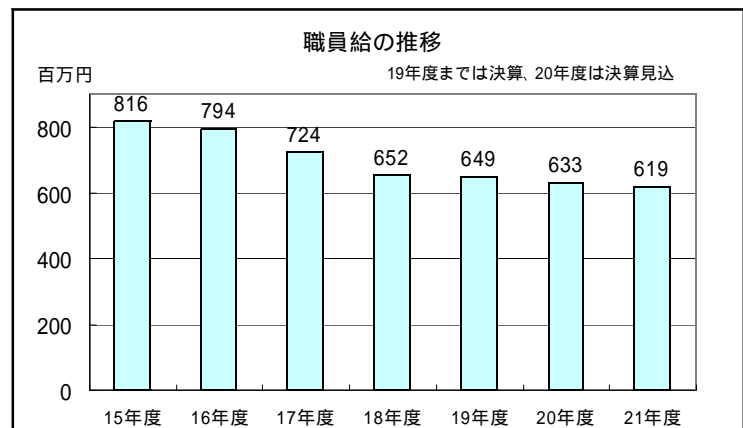
(単位: 百万円、%、人)

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
人件費	1,231	1,192	1,118	1,029	1,011	978	966
伸び率	4.7	3.2	6.2	8.0	2.1	3.3	1.2
職員給	816	794	724	652	649	633	619
伸び率	2.6	2.7	8.8	9.9	1.5	2.5	2.2
職員数	133	129	119	109	110	106	104

(19年度までは決算、20年度は決算見込)

(2) 職員給・職員数とも

平成11年度の9億2千万円、149人がピーク。職員数の削減、給料制度・諸手当の見直しによる減等により、職員給は10年連続の削減。

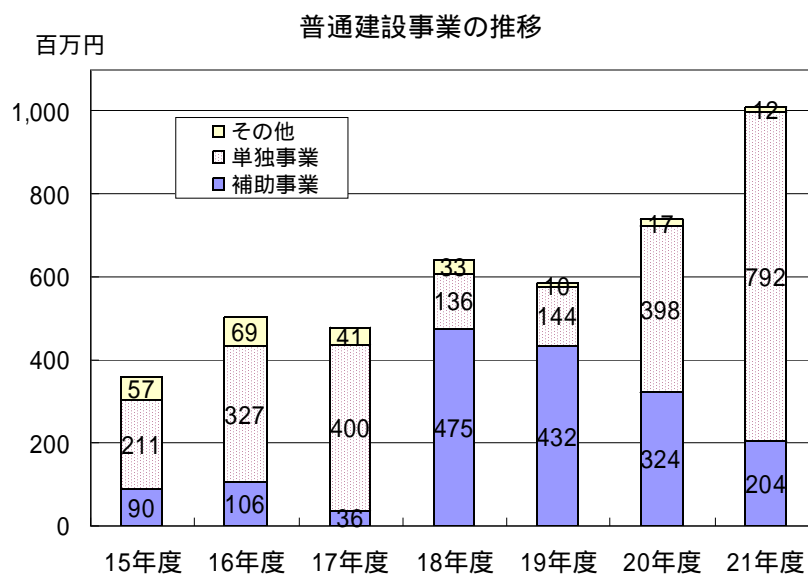


3. 普通建設事業(公共事業)の状況

平成20年度、21年度は、『町民生活と地域経済を守る緊急対策』のため積極的に事業を実施

施策の「選択と集中」を行う

- ・みんなで支える子育て環境の整備・安心安全で、快適な環境の整備



(19年度は決算、
20年度は決算見込)

4．財政運営の健全性の維持

(1) 健全化判断比率の健全水準の維持 (第 3 次財政改革実施計画の取り組み)

平成21年度は、『町民生活と地域経済を守る緊急対策』のため積極的に施策を実施することにより、予算規模は大幅に増加している。施策の実施にあたり、行財政改革や公債費の削減等で経常的経費充当一般財源の削減を行い、また、過疎債等の償還金に対し後年度に財源措置のある有利な町債の活用により、財政運営の健全性を維持する。

「実質赤字比率」、「連結赤字比率」

財政調整基金残高の維持、一般会計から他会計への適切な繰出補助により、引き続き黒字決算となることが見込まれる。

「実質公債費比率」、「将来負担比率」

町債残高が増加するが、過疎債等の償還金に対し後年度に財源措置のある有利な町債の活用により、県内市町村でトップクラスの健全性を維持する。

	19年度 決算	20年度 決算見込	21年度	23年度 計画目標値
実質公債費比率	12.7%	12.2%	11.8%	12.5%以下
将来負担比率	60.8%	58.7%	62.6%	83.0%以下

町債残高は、平成 1 2 年度の 8 0 億 8 千万円 (減税補てん債 1 億 8 千万円を除いた現在高は 7 9 億円) がピーク

(単位: 百万円)

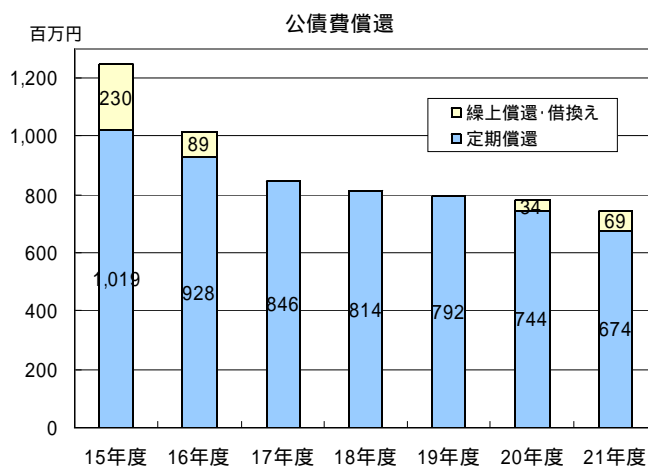
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
発行額	538	448	493	499	445	528	1,031
臨財債・減税補てん債	386	264	206	181	161	151	222
臨財債以外分	152	184	287	318	284	377	809
町債残高	6,667	6,230	5,818	5,607	5,357	5,256	5,643
臨財債・減税補てん債	709	1,123	1,307	1,449	1,549	1,619	1,754
臨財債以外分	5,958	5,107	4,511	4,158	3,808	3,637	3,889

(19年度までは決算、20年度は決算見込)

「決算統計」の記載要領に準じて計上 (病院整備に充当した過疎債を除く)

公債費は、町債発行額の抑制・
繰上償還により、6年連続減少
(平成15年度がピーク)

(19年度までは決算、20年度は決算見込)



財政調整基金の年度末現在高は平成18年度以降7億円超で推移

予算取崩額 平成20年度当初：113百万円

平成21年度当初：36百万円

(単位:百万円)

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
前年度末現在高	328	419	565	637	730	724	731
歳計剰余金処分積立額	140	146	72	118	71	119	50
予算積立額				3	2	2	2
予算取り崩し額	49			28	79	114	36
年度末現在高	419	565	637	730	724	731	747

(19年度までは決算、20年度は決算見込)



「平成 2 1 年度 朝日町予算説明書」

朝 日 町 総 務 課